

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [労働運動](#) | [民主的な労使関係](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

### 労働運動 民主的な労使関係

- 産業民主主義は、労使間の民主主義のことであり、民主的労使関係を大切にすることをいいます。
- 民主的労使関係には労使対等の原則、対立・協力の二面性の原則、それに経営参加の問題があります。
- 労使の関係は、親子のような関係でも、主人と家来のような関係でもありません。労使は対等であるのです。この原則のもとに、団体交渉や労使協議を通じて、労働者の意見を経営に反映させていこうとするものです。しかし、労使対等を現実のものにするためには、なによりも組合員の団結が必要です。また、他の労組との連帯、統一が必要です。そして、政策立案能力を身につけなければなりません。労使対等は、唱えるだけでなく、このような実践、努力の上になりたつものであることを忘れてはなりません。
- 民主的労働運動は、労使関係を協力関係と対立関係の二面性でとらえます。すなわち、利害対立は相対的なものであり、利害一致の側面では、協力し、利害不一致の側面では対立していきます。これに対して、共産主義的左翼労働運動は、労使関係を絶対的な対立関係、すなわち敵対関係ととらえます。資本主義が続くかぎり労働者の解放はない。労働者の幸福のためには私企業をつぶすしかないというのが基本の考え方ですから、労使の協力などはあり得ないのです。
- 経営参加とは、労働者または労働組合が、企業経営上の諸問題の決定に参加することです。当面、労使協議の充実、特に事前協議制の充実から取り組むことが必要でしょう。

#### ■ 労使関係の原則

- 労使対等
- 相互不介入
- 相互理解
- 労使自治

#### 生産性三原則

生産性向上には、取り組むための原則があります。無原則で取り組んでいるものではありません。三つの原則を労使が理解合意することが前提です。

- 事前協議（生産、経営上の課題を事前に協議すること）
- 成果の適正配分（生産性で上げた成果は適正に配分すること）
- 雇用の拡大（雇用の安定と拡大につなげること）

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

## Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> [一覧へ戻る](#)

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.